



◎この計画の実現に向けて、町政アドバイザーとしてのご意見をお聞かせください。

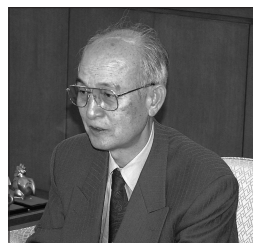
澤…もっと町をPRすることが重要だと思います。例えば、町が取り上げられた記事などをホームページの資料編に掲載してはどうでしょうか。

版權の問題もあります。が、発行元の了解をもらえば、掲載できると思います。人は他人が書いているものを見ると「そうかな」という感じになる。だからボンネットバスにしても記事に取り上げられたりしますよね。その記事をホームページに掲載すれば、見た人が行ってみようかなと思った

りする訳です。また、人は押し付けのPR

Rというのはあまり好きではない。ホームページなら、ごく自然に、コストもあまり掛かりませんし、勝手に見て、印刷もしてくれます。そういうものを活用してはどうかと思います。

三 浦…「資源を活かす」ということは、活かす資源をどう守り、どう育てて、どう活かしていくかということになると思います。これには、2つ方法がある。一つは子どもの初等教育に力を入れて、若い所帯を呼び込むというようなこと。も



三浦 忠誠

一級建築士。名古屋金山ビル（名古屋ボストン美術館）、中部国際空港などの設計に携わる。岩美すこやかセンターの設計も担当。浦富出身。名古屋市在住

う一つは産業面で、町の方針にある『協働』という「協力して働く」ということ。昔『もやい』というのがありました。子どもの頃から助け合いの大切さを教えていくようにすればいいのではと思います。

それと澤さんも言われましたが、一番に重要なことは、情報戦に勝つことだと思っています。例えば、岩美町は漁業が盛んですが、町のホームページには、最も関心のある何処に売ってあるとか、何処で食べられるかという情報がないのです。

そういう情報へのリンクくらいはやっていいと思います。

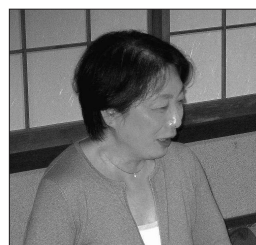
また、岩美の魅力というと浦富海岸があります。しかし浦富海岸は見ただけなのです。何かフィッシュヤーマンズウィフみたいな昼飯を食べていくというルートがあれば、「ちょっと見るだけ」から「見て食べる」というふうに発展して、さらに「見て食べて泊まる」というようになるといいと思います。

三 角…フィッシュヤーマンズウィフに関連して、静岡県伊東市の海岸に客が好きな干物を買って焼き代を払い、自分で焼く食堂があり、賑わっています。このような店は岩美町でもやれるの



澤 志郎

日本交通株式会社社長。大阪を中心に鳥取と京阪神を結ぶ高速バスや路線バス、タクシー事業、観光事業などを幅広く展開。大阪市在住



三角 幸子

月刊誌「マダム」奥様向けの編集長など婦人雑誌を中心に雑誌・書籍の編集を手がける。現在はフリーライター。浦富出身。東京都練馬区在住